

第 10 話 血液サラサラ薬で脳梗塞の再発予防

脳梗塞を予防するため、血の塊(血栓)ができるのを防ぐ薬(抗血栓薬)を使用します。よく言われる「血液サラサラ」の薬です。

血栓のでき方には 2 種類あり、それに応じた「血液サラサラ薬」を使います。

(A) 血栓のでき方の違いと抗血栓薬の使い方

<p>動脈硬化を起こした血管</p> <p>↓</p> <p>血液中の血小板が活性化し 血栓が生じる (第 3 話 参照)</p>	<p>血栓の でき方</p>	<p>心房細動</p> <p>↓</p> <p>心臓内で血液の流れが停滞</p> <p>↓</p> <p>血液の凝固因子が働き 血栓が生じる</p> <p>↓</p> <p>脳の動脈に飛来する (3 話、第 7 話 参照)</p>
<p>血小板の活性化を抑える薬</p> <p>◎抗血小板薬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスピリン ・シロスタゾール ・クロピドグレル 		<p>抗血栓の 分類</p>
<p>アテローム血栓性脳梗塞 ラクナ梗塞</p>	<p>脳梗塞 の種類</p>	<p>心原性脳塞栓症</p>

血液サラサラ薬は脳梗塞や心臓病の予防には有用ですが、脳出血や胃・大腸などの消化管出血を起こす危険性も持ち合わせています。

そのため、なぜその薬が必要なのか、逆にどんな副作用があるのかを十分に理解して使用する必要があります。

抗血栓薬服用時の注意点



- ・**高血圧**:「脳出血」を防ぐため、可能な限り 130mmHg 以下が目標。
- ・**出血傾向**:皮膚の内出血、鼻血、歯ぐきの出血。黒色便・血便、血痰などに注意。
- ・**薬剤の飲み合わせ**で効果が変わることがあります。他院でもらっている薬はお知らせ下さい。
- ・**ワルファリン**と食べ物:納豆、青汁、クロレラは摂らないでください。その他の黄緑色野菜も注意。効かなくなる可能性があります。
- ・**クロピドグレル、シロスタゾール**:グレープフルーツの摂取は控えてください。効きすぎになる可能性があります。
- ・**手術**では、必要に応じて薬を中断します。
- ・**怪我**をしたときは、通常より出血が多くなる可能性があります。

